

令和5年7月豪雨災害を踏まえた河北郡市流域治水対策検討部会（第2回）  
議事概要

1. 日時：令和5年11月24日（金）14:00～15:00
2. 場所：石川県行政庁舎11階1102会議室
3. 出席者：別紙「出席者名簿」の通り
4. 議題：
  - 1) 河北郡市緊急治水対策プロジェクト(案)について
  - 2) 意見交換
  - 3) 今後の予定について
5. 開会(挨拶：石川県土木部長)

7月の豪雨災害から早4か月半が経過した。この間、関係機関の尽力、地元の協力により、復旧できる箇所はかなり進んだように思う。短い期間ではあったが、国・県・市町等、各機関から同規模の雨が降っても、被害を軽減するための今後の対策を出して頂いた。県土木部でも、国からの支援により津幡町の能瀬川と津幡川については、12月の補正予算に復旧の予算を組み込ませて頂いた。各機関からの意見を頂き、プロジェクトを取りまとめたい。

6. 議事概要

1) 河北郡市緊急治水対策プロジェクト(案)について

ア 河川における対策について（資料1-P3）

ア) 石川県土木部河川課より、県の対策について説明。

イ) かほく市産業建設部より、かほく市の対策について説明。

ウ) 津幡町産業建設部より、津幡町の対策について説明。

○質疑応答

特になし。

イ 雨水流出抑制対策について（資料1-P4）

ア) 石川県農林水産部農業基盤課より、県の対策について説明。

○質疑応答

特になし。

ウ 内水氾濫対策について（資料1-P5）

ア) 農林水産省北陸農政局より、国の対策について説明。

イ) かほく市産業建設部より、かほく市の対策について説明。

ウ) 津幡町産業建設部より、津幡町の対策について説明。

エ) 内灘町都市整備部より、内灘町の対策について説明。

○質疑応答

特になし。

エ 上流域における対策について（資料 1-P6）

ア）石川県土木部砂防課より、県の対策について説明。

イ）石川県農林水産部森林管理課より、県の対策について説明。

○質疑応答

特になし。

オ 気象情報の充実・周知について（資料 1-P7～9）

ア）気象庁金沢地方气象台より、气象台の対策について説明。

○質疑応答

特になし。

## 2) 意見交換

ア 河北郡市緊急治水対策プロジェクト案の全体を通しての意見を伺う。

イ 本プロジェクトの名称について、意見を伺う。

○質疑応答

<かほく市>

北陸農政局が作っている防潮水門の完成時期について、教えていただきたい。

(北陸農政局コメント)

完成時期について、明言は出来ない。河川管理者の石川県土木部河川課と協議し、この場所については通年施工できるので、事故のないように工事を進めている。今後とも、引き続き必要な予算をしっかりと確保しながら、少しでも早く安全に完成できるように努めていく。

<津幡町>

昨日(11/23)の北國新聞にも出ていたが、津幡管内の二級河川津幡川、および能瀬川での被災がなかった区間も含めて、拡幅などの改良工事が実施されるということを知り、被災地区の地元からも、大変強い要望が上がっていることから、県の抜本的対策の速やかな対応には大変心強く、ありがたく思っている。町の管理する準用河川は二級河川に繋がる河川になるので、津幡町としても、準用河川の検証業務を発注している。その結果を踏まえて県の二級河川と相乗効果があるようなハード設備を検討したい。

<内灘町>

北部地区における浸水被害により、西部承水路の水位上昇に対する備えが重要であることを再認識している。雨水流出抑制対策という形で排水機場による事前排水という対策をいただけるということで心強く大変ありがたいと思っている。今後も連携して被害軽減のために対応したい。

<金沢市>

今回のプロジェクト案では、金沢市の取り組みはないが、関連する大野川水系流域治水プロジェクトにおいて、河川改修や雨水貯留施設の整備といったハード面・ソフト面にわたり、様々な取り組みを進めることとしている。今後、当該プロジェク

トは大野川水系流域治水プロジェクトにも反映されていくと思うが、金沢市においても、現在の大野川水系流域治水プロジェクトに位置づけられていない新たな取り組みも進めているので、今後大野川水系流域治水プロジェクトの見直しに合わせて、取り組みを修正・追加したい。

〈石川県農林水産部〉

今回の河北郡市の豪雨については、農地の被災はほとんどが中山間地域であったということなので、県と市町、町内会、生産組合、土地改良区が日頃からの点検をしっかりとやっておかないといけない。

河北潟の関係で、北陸農政局が令和3年から排水機場と防潮水門の再整備に着手をいただいた直後に被災があった。先ほどのかほく市と同様に、1日も早い完成をお願いしたい。令和3年着手なので、それより数年前に雨量の想定をしたと思うが、今回その想定を超える雨だったのではないかと思っている。今の計画のレベルで、今回の雨が降ったときに、完成後は一体どうなるのかということを検証していただいて、ご提示いただきたい。

〈森林整備センター金沢水源林整備事務所〉

津幡町、かほく市内において、流域外に管理している森林があるので、そちらの森林整備等を適切に実施していく。

〈石川森林管理署〉

当流域において、直接的な事業は行っていないが、災害等が発生した場合の現地調査、災害申請などの事務的な助言、技術支援を積極的にさせていただきたい。また、常日頃から関係機関と協力し、森林管理署で得た情報等があれば、共有し、再度災害防止のために、流域治水の着実な推進に向けて連携していきたい。

〈農林水産省北陸農政局〉

かほく市、石川県農林水産部からの要望について、できるだけ早い時期にお答えできるように一生懸命、今後も引き続き頑張っていく。

〈金沢河川国道事務所〉

梯川水系緊急治水対策プロジェクトを国だけではなく、関係の石川県、自治体、その他の関係機関、それぞれがしっかりと進めているところ。やはり一番大事なことは、進捗管理と思っている。第1段階が令和7年度、第2段階が令和10年度、そして第3段階が令和14年度ということで、スケジュールが遅れないようにしっかりとやっていただければと思っている。

事業を実施するにあたっては、用地の買収関係もあるかと思う。そういったところでは、市町の協力も大事。事業の進捗管理をするには、流域全体で取り組んでいかなければいけない。

また、先行するプロジェクトを参考にしながら、見直しをしていくことが大事。見直しの中で、事業を執行するに当たって課題等もあると思う。こういった場で、課題をきちんと共有して、改善して良いものについては踏襲していただければと思う。

〈金沢地方気象台〉

近年発生している豪雨による災害というのは、特に小規模河川の氾濫によって生じている。気象台では、小規模河川の氾濫に対しても、危機感を伝えるための取り組みを進めているところ。適時適切に防災気象情報を発表するために、被害の軽減、早期復旧のための対策を、石川県をはじめ関係機関と力を合わせて行っていきたい。

〈石川県危機管理監室〉

近年の大雨・雪は、過去の経験をもとに対策しては、手遅れになってしまうというような状況。対策を総合的にやる中でも、ソフト対策というものが大事になってくると思っている。ハザードマップの作成、それを住民の方にきっちり周知する。個別避難計画も、残念ながら各市町において濃淡がある。河北郡市の中においても、防災担当課と連携して、個別避難計画の作成率を上げていくことが大切だと思う。

10月に臨時の防災会議を開き、顕著な大雨に関する気象情報が発表された時等に災害対策本部を設置するというような対応をしている。気象台とも連携し、速やかな初動対応をとっていきたい。ハード・ソフト合わせての対策が非常に大事かと思うので、市町の防災担当部局との連携もよろしく願いたい。

〈石川県土木部〉

計画は、例えば、津幡町の検証が終わったら、アップデートしていかなければならない。線状降水帯であつという間に降り出し、断面が小さい小規模河川はあつという間に水位が上がる。大きな川とは違った、対策の難しさがあるので、皆様から色々なアイデアをいただき、知見を重ねながら、少しでも安全に、被害が少ないようにしていきたいので、今後とも協力をお願いしたい。

※本プロジェクトの名称を「河北郡市緊急治水対策プロジェクト」とすることに、異論なし。

### 3) 今後の予定について（資料2）

- ア 「河北郡市緊急治水対策プロジェクト」の取り組み内容について、近日中に石川県土木部河川課のホームページで公開する。
- イ 12月中に「県央地区流域治水協議会」を開催し、「河北郡市緊急治水対策プロジェクト」の取り組み内容を報告する。
- ウ 「県央地区流域治水協議会」に「河北郡市緊急治水対策プロジェクト」の内容を現在の「大野川水系流域治水対策プロジェクト」に盛り込むことについて、承認を受ける。
- エ 石川県土木部河川課のホームページで公開している「大野川水系流域治水プロジェクト」の取り組み内容を更新して公表する。

○質疑応答

<かほく市>

今後、進捗状況の検証を行っていくのか。事務局にお聞きしたい。

(石川県土木部河川課コメント)

部会の開催や親会の流域治水協議会を適宜開いて、また検証していきたい。

(金沢河川国道事務所)

梯川水系のプロジェクトでも、毎年検証しながら、進捗管理をしっかりとやっているの、このプロジェクトにおいても実施して頂ければと思う。

(かほく市コメント)

こういった場合は非常に大事で、できれば最初に実務者レベルで話をまとめ、幹部クラスに見せて、毎年確認を取っていくということをして欲しい。

7. 閉会（挨拶：津幡町産業建設部長）

本日の検討部会では、河北郡市における再度災害防止のための治水対策として、「河北郡市緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめた。これまでの流域治水の取り組みに加え、今回とりまとめた対策を併せて進めるにあたっては、流域内の関係者が密に調整・連携していくことが非常に重要。皆様のご協力をお願いしたい。